

PRSJ NEWS

2024年6月号 No.363



新役員の皆様

TOPICS

MESSAGE

理事長退任の挨拶

PRSJ 前理事長 牧口征弘

BULLETIN

2次試験実施報告

在日カナダ大使館訪問開催報告

事務局だより

P3

P11

P12

P18



公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

発行人：理事長 牧口 征弘

目 次

6月~7月スケジュール		P1
MESSAGE(メッセージ)	理事長退任の挨拶	P3
ATTENTION(お知らせ)	通常総会開催報告	P4
	「パブリックリレーションズ入門講座 2024」7月開講	P7
〃	「2024 PUBLIC RELATIONS YEARBOOK」発刊	P8
	『2024-2025 年度版 広報・P R 実践』を発刊	P9
	第36回1次試験 申込み受付中	P10
BULLETIN(活動報告)	2次試験実施報告	P11
〃	在日カナダ大使館訪問開催報告	P12
〃	第31回広報活動研究会(5月28日)開催報告(会員限定) 「三菱UFJフィナンシャル・グループ MUFG PARK」見学会	P16
PRSJ in MEDIA	協会掲載記事	P17
事務局だより		P18

5～6月 セミナー・イベント スケジュール

【オンデマンド視聴】

PR プランナー1 次試験対策講座	講 師	： (株)井之上パブリックリレーションズ 横田和明氏他、全4名
PR プランナー2 次試験対策講座	講 師	： 三菱UFJフィナンシャル・グループ 飾森亜樹子氏他、全12名
PR プランナー3 次試験対策講座	講 師	： (株)グッドパッチ 高野祐樹氏他、全4名

【オンデマンド視聴】

PR 集中テーマスタディ<第1回>	日 時	： 2023年7月25日(火)～2024年7月31日(水)
	テーマ	： リスクコミュニケーション(危機管理広報)
PR 集中テーマスタディ<第2回>	日 時	： 2023年11月22日(水)～2024年11月22日(金)
	テーマ	： 戦略的コーポレートコミュニケーションの新展開
PR 集中テーマスタディ<第3回>	日 時	： 2024年2月21日(水)～2025年2月20日(木)
		： ブランディングを実現する最新PR戦略
They Talk Forum (ハイブリッド開催)	日 時	： 7月1日(月) 18:30～20:30 (18:00受付開始/18:20サイトオープン)
	会 場	： aiMaCafe (アイマカフェ)
	テーマ	： 組織、文化、社会を変える コミュニケーションのチカラ
	講 師	： パナソニック コネクト株式会社 取締役 執行役員 シニア・ヴァイス・プレジデント CMO 山口有希子氏

6月～7月の理事会・委員会・部会スケジュール

◇定例理事会	(6月度)	日時	: 6月13日(木)	16:00～17:30
		会場	: 事務局+オンライン開催	
	(7月度)	日時	: 7月11日(木)	16:00～17:30
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇教育委員会	(6月度)	日時	6月20日(木)	16:00～17:00
		会場	事務局+オンライン開催	
◇資格委員会	(6月度)	日時	: 6月27日(木)	14:00～15:30
		会場	: ハイブリッド開催	
◇国際・交流委員会	(6月度)	日時	: 6月7日(金)	16:30～17:30
		会場	: オンライン開催	
◇広報委員会	(6月度)	日時	: 6月27日(木)	16:00～17:00
		会場	: オンライン開催	
◇顕彰委員会	(6月度)	日時	: 6月26日(水)	14:00～15:00
		会場	: オンライン開催	
◇企業部会幹事会	(6月度)	日時	: 6月5日(水)	17:00～18:00
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇PR業部会幹事会	(6月度)	日時	: 6月18日(火)	16:00～17:00
		会場	: オンライン開催	

理事長退任の挨拶



公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
前理事長 牧口 征弘

平素より当協会の活動に対し御支援御協力賜り、誠にありがとうございます。おかげさまで、今年も総会のタイミングである区切りの6月を迎えることができました。

私事ながら、近年この季節になると毎年のように上高地を訪れています。特に何をするというわけでもなく、ゆったりとした時間を過ごすだけなのですが。

前日に松本市に入り、いつも行く蕎麦屋でお昼を食べ、いつも行く民芸品店を流し、夜もいつも行くお店で晚餐に当たる。翌日いよいよ上高地に向かい、いつも渡る橋を渡り、いつものソフトクリームを楽しみ、いつもの散策道を歩き、いつもの池を眺めに行く。ただそれだけのことです。

ほとんどの場合、何も変わっていないことを確かめるための時間ではあるのですが、そんな中、わずかな変化を感じ取ることができるのもまた事実です。そういった瞬間、日々の都会暮らしで鈍感に落ちている自身の感覚が、急に鋭くなるような気にもなります。

武道の達人や一流のアスリートこそ、ルーティンを大事にするとされています。同じことを単調に繰り返すことを通して、ほんのわずかな変化に気づき、それに対してできることを準備する。哲学者カントの毎日の散歩にも、そのような効果があったようです。

翻ってみて、PRの仕事、コミュニケーション産業はどうでしょうか？ 常に社会との接点を保ち、先読みすることすら肝要であるのだとすれば、世の中の変化、向き合う相手の微細な気配に対して鋭敏であることが求められていると思います。

日々の多忙の中、ついつい陥りがちな感覚の摩滅に対して、協会の活動が何かしらお役に立てるのであれば、我々としても幸いに存じます。

この度、私自身はお預かりしていた理事長職をお返すこととなります。1期2年の間でしたが大変お世話になりました。新しい執行体制になりましても皆様のお力添えを賜りたく、よろしく願い申し上げます。

末筆となりましたが、今後の皆様の御健勝とPRという仕事の益々の発展を、心より祈念いたします。

※新理事長の挨拶は7月号協会ニュースに掲載予定です

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会 「第13回通常総会」開催報告

第13回通常総会が、6月11日(木)午後4時から、東京都港区六本木の公益財団法人国際文化会館「岩崎小彌太記念ホール」で開催されました。

令和6年度3月末の議決権数は正会員362名で、出席者32名、議決権行使書提出者187名、合計219名定足数の181名を超え、総会は成立しました。

総会では、次の3つの議案の審議と2つの報告が行われ、議案事項は全て承認されました。

会員の皆様、関係者の皆様、またご協力いただきました皆様に心よりお礼申し上げますとともに、今年度も何卒よろしくお願い申し上げます。

【議案審議】

第1号議案 令和5年度事業報告承認の件

第2号議案 令和5年度収支決算報告

並びに監査報告承認の件

第3号議案 新役員選任承認の件

【報告事項】

第1号報告 令和6年度事業計画について

第2号報告 令和6年度収支予算について



また、午後5時30分からは、同階「樺山・松本 ルーム」において懇親パーティが行われ、こちらも100名(招待者含む)の参加者を迎え、大変な盛況でした。

パーティ席上では、新執行部紹介、新任理事の紹介、退任役員(理事・監事)への記念品贈呈などのセレモニーが行われ、盛況の内に閉会しました。



新役員体制は次のページに掲載

役 職	氏 名	担 務	所 属
理事長	山口 恭正 (新任)	経営企画会議 議長 コンプライアンス会議 委員	株式会社電通 PR コンサルティング 代表取締役社長執行役員
副理事長	江良 俊郎	経営企画会議 委員 コンプライアンス会議 委員 PR業部会 部会長	株式会社エイレックス 代表取締役
副理事長	伊東 由理	経営企画会議 委員 コンプライアンス会議委員 企業部会 部会長	LINE ヤフー株式会社 執行役員 コーポレートコミュニケーション統括 本部長
副理事長	松本 理永	経営企画会議 委員 コンプライアンス会議 委員 広報委員会 委員長	株式会社サニーサイドアップ 取締役
副理事長	眞野 昌子 (新任)	経営企画会議 委員 コンプライアンス会議 議長 (コンプライアンス会議担 当理事)	日本マクドナルド株式会社 広報部 インターナルコミュニケーション部 部長
常務理事	林 直樹 (新任)	経営企画会議 委員 コンプライアンス会議 委員	公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会 常務理事 (常勤)
理 事	相川 貴之 (新任)	教育委員会 副委員長	いすゞ自動車株式会社 広報部長
理 事	江中 一穂 (新任)	国際・交流委員会 委員長	住友商事株式会社 広報部副部長
理 事	遠藤 祐	教育委員会 委員長	株式会社博報堂 PR局 シニアPRディレクター
理 事	吉柳 さおり	PR業部会 副部会長	株式会社ベクトル 取締役副社長 パナソニック オペレーショナルエク セレンス株式会社 コーポレート広報センター コーポレ ート広報室長
理 事	齋藤 博海	関西部会 副部会長	第一生命ホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーションユニ ット長
理 事	坂本 香織	企業部会 副部会長	TOPPANホールディングス株式会 社 広報本部 宣伝部長
理 事	佐藤 圭一 (新任)	顕彰委員会 委員長	社会構想大学院大学 コミュニケーションデザイン研究科 教授
理 事	柴山 慎一		ダイキン工業株式会社 役員待遇
理 事	細見 基志	関西部会 部会長	コーポレートコミュニケーション室長
理 事	本田 哲也	個人会員担当	株式会社本田事務所 代表取締役
理 事	吉宮 拓 (新任)	顕彰委員会 副委員長	株式会社プラップジャパン 取締役

Attention (お知らせ)

理事 渡邊 香織 資格委員会 委員長

監事 大石 哲也

監事 金野 祥治
(新任)

監事 富岡 洋子

(事務局)

事務局長 青田 浩治

関西
事務局長 曾根 宏司

コミュニケーションサービス統括本部長

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

広報・サステナビリティ推進本部長代行 兼 サステナビリティ推進部長

株式会社スパイスコミュニケーションズ
代表取締役社長

株式会社小田急スポーツサービス
監査役

NTT データ先端技術株式会社

取締役常務執行役員

人事総務部長

公益社団法人

日本パブリックリレーションズ協会
(常勤)

公益社団法人

日本パブリックリレーションズ協会

なお、新理事・監事のご挨拶を来月号の協会ニュースで掲載いたします。

—全てのPRパーソンに学びがあるPR基礎講座—
「パブリックリレーションズ入門講座 2024」
オンデマンド版を7月上旬開講に向け準備中！

教育委員会

教育委員会事務局の佐藤です。私は20年ほどPR会社で勤務したのち、独立起業して、今年の4月からPRSJの教育委員会でお仕事させていただいています。そんな私のPRSJでの初めてのお仕事は、去る4月に5年ぶりの対面開催で実施した「パブリックリレーションズ入門講座 2024」でした。

本講座は、事業会社の広報・PR部門、PR会社およびPR業関連会社の新任実務者の方々を対象としています。各分野の第一線で活躍する総勢11名の講師から、ニュースリリース、メディアリレーションズ、企業広報、マーケティングPR、危機管理広報、デジタル・コミュニケーション、広報関連法規、SDGsなど、様々なテーマで講座を展開しました。

「入門講座」と銘打っていますが、PR歴20年の私が感じたのは「これは新任の方向けの講座じゃない！！」ということ。そう感じるくらい、全ての講座で今PRの現場で起きている最新の情報を熱量高くお伝えいただきました。3日間にわたる講座では、私自身の仕事に活かせる濃厚な情報がたくさんあり、メモを取る手が止まらず笑。こちらでネタばらしは出来ませんが、新任の方だけでなく、PRに携わる全ての皆様に学びがある講座だなと感じています。

そんな「パブリックリレーションズ入門講座 2024」のオンデマンド版を7月に開講する予定です。全てのPRパーソンに学びがある講座であると感じておりますのでぜひご期待ください！

パブリックリレーションズ入門講座 2024 講座一覧	
「広報・PRパーソンが知っておくべき法的ポイント」	鈴木悠介氏（西村あさひ法律事務所 パートナー弁護士）
「危機管理広報の基本と重要性」	河端 渉氏 （（株）エイレックス コンサルティング2部グループリーダー/トレーナー）
「パブリックリレーションズとはどんな仕事？」	阪井完二氏（（株）電通PRコンサルティング 執行役員 企業広報戦略研究所 所長）
「企業広報の基本と実際」	岩切正哉氏（企業広報コンサルタント）
「パブリックリレーションズとマーケティングPR」	永渕雄也氏（（株）博報堂 クリエイティブコンサルティング局 チームリーダー/クリエイティブディレクター）
「パブリックリレーションズにおけるオウンドメディアの活用」	飯田真吾氏（（株）クラウドワークス IR・PR室 室長）
「インターナル・コミュニケーションの役割と実際」	上岡典彦氏（エバラ食品工業（株） 執行役員 経営企画本部長）
「ニュースリリースの作成と活用」	西林祐美氏（（株）共同通信PRワイヤー 営業部 営業企画課 次長）
「SDGsの基本とパブリックリレーションズ」	半澤 智氏（日経BP日経ESG 副編集長）
「PRパーソンのための『世界最高の話し方』」	岡本純子氏（コミュニケーション・ストラテジスト）

（教育委員会事務局 佐藤）

「2024 PUBLIC RELATIONS YEARBOOK」 発行しました

広報委員会

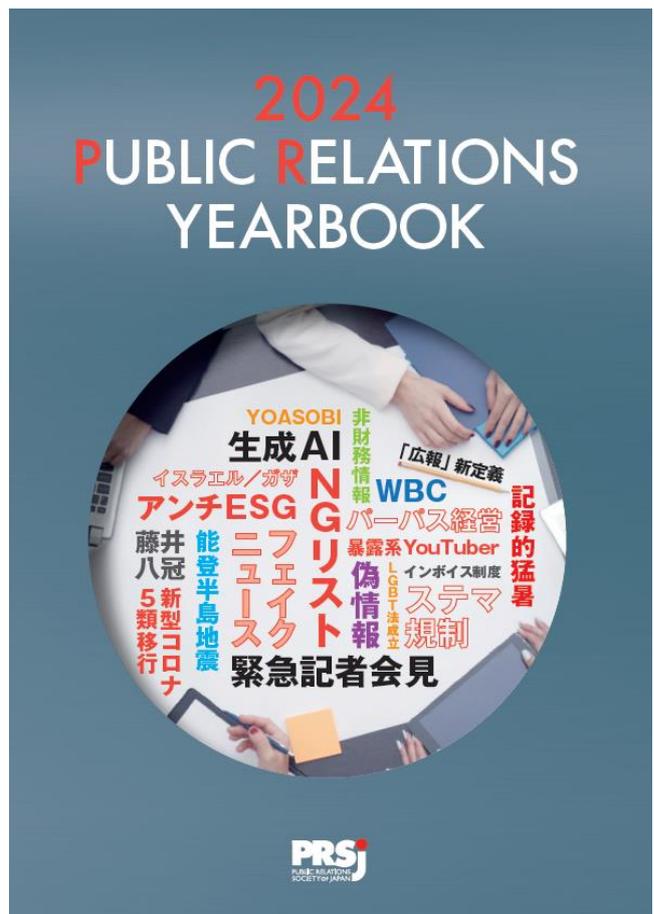
昨年版では、「年鑑」としての記録性やファクト情報・データを重視し、広報・PRの“旬”の話題を包括的に解説する内容へと大幅に改訂した結果、現場の第一線で活躍されている方々から非常に高い評価をいただきました。2024版は旬のトピックスに関する記事がさらに拡充し、広報・PRの実務担当者に必須の情報が満載となっています。

会員の皆様におかれましては、まずは一度お手にとって開いていただき、率直なご意見・ご感想をお寄せいただきますよう、お願い申し上げます。

「2024 PUBLIC RELATIONS YEARBOOK」の主な内容は以下の通り

- ・座談会「パブリックリレーションズ、この1年」
TBWA HAKUHODO 加藤卓／東京都 奥山雄大／千葉
テレビ放送 早坂 豪／リスト 田尻有賀里
[司会]kipples 日比谷尚武 (PRSJ 広報委員会)
- ・インタビュー フェイク情報が日常になるなか、
「愛される」ということがますますキーになってくる
国際大学 グローバル・コミュニケーション・セン
タ
ー 准教授 山口真一
[聞き手]LINE ヤフー 伊東由理 (PRSJ 副理事長)
- ・謝罪会見が社会から見られている時代の、メディア
と広報の役割とは？
日経ビジネス 記者 小原 擁
[聞き手]エイレックス 江良俊郎 (PRSJ 副理事長)
- ・DATA & TOPICS
SDGs 広報「『SDGs 推進の現状と課題』調査」報告
「パブリックリレーションズ (広報・PR) 業務
と人材育成に関する調査 2023」報告
- ・PRアワードグランプリ 2023 受賞事例紹介
- ・2023 年度日本PR大賞
- ・2023 年度 PRSJ 活動報告 等

「PUBLIC RELATIONS YEARBOOK」は、PRSJの正会員、個人会員には一冊ずつ配布される他、希望する方には1000円(税込)で販売しておりますので、ご関心のある方はPRSJ事務局までお問い合わせください。



PRプランナー資格認定制度／検定試験

PRプランナー資格認定検定試験 2次・3次試験公式テキスト 『2024-2025 年度版 広報・PR実践』を発売 —2024年11月に実施される第36回2次試験に対応—資格 資格委員会

PRプランナー資格認定検定試験1次試験の公式テキスト『2024-2025年度版 広報・PR実践』を5月27日に同友館より刊行しました。

本テキストは、2024年11月の第36回2次試験と2025年1月に実施される第36回3次試験に対応し、試験範囲となる、経営、CSR、IR、危機管理、マーケティング、ブランドの基本理論の、幅広い範囲にわたる試験分野の内容をカバーし、受験準備を効果的かつ効率的に行うことが可能となります。

『2022-2023年度版 広報・PR実践』からの主な変更内容は、社会環境の変化に対応し、第9章「CSR（企業の社会的責任）」は全面改訂。第1章「広報・PRの基本」、第2章「企業経営と広報・PR」、第5章「メディアリレーションズ」、第6章「マーケティングの基礎理論」、第10章「インターナル・コミュニケーション」、第11章「IR」、第13章「危機管理広報」、第14章「行政・団体のPR」では部分改訂を行いました。その他、統計データを更新しています。

なお、2次・3次試験に対応した『2024-2025年度版 広報・PR実践』、および1次試験から3次試験までの参考問題を収録した『2024年度版 広報・PR参考問題集』は、6月刊行を予定しております。

2024-2025 年度版 広報・PR実践



仕様	定価：2,860円（消費税込） 仕様：A5サイズ、343ページ
編著	（公社）日本パブリックリレーションズ協会
発行	同友館
発行日	2024年3月31日
ISBN	978-4-496-05710-6
目次	第1章 広報・PRの基本 第2章 企業経営と広報・PR 第3章 広報・PR活動のマネジメント 第4章 コミュニケーションの基礎理論 第5章 メディアリレーションズ 第6章 マーケティングの基礎理論 第7章 マーケティングと広報・PR 第8章 ブランドの基礎理論 第9章 CSR（企業の社会的責任） 第10章 インターナル・コミュニケーション 第11章 IR（インバスターリレーションズ） 第12章 グローバル広報 第13章 危機管理広報 第14章 行政・団体等の広報・PR

PRプランナー資格認定制度／検定試験

全国 47 都道府県にあるテストセンターで受験可能 第 36 回 1 次試験 申込み受付中

— 試験期間は、8 月 10 日(土)～25 日(日)まで —

資格委員会

試験スケジュールにつきましては、変更する可能性もございますので、下記の PR プランナー資格制度 Web サイトでご確認くださいませよう、お願い申し上げます。

2024 年度後期（第 36 回）1 次試験のお申込み受付を 6 月 1 日（土）より開始しました。

第 36 回 1 次試験は CBT 方式で、試験期間は 8 月 10 日（土）～8 月 25 日（日）の 16 日間で実施します。本 1 次試験は広報・PR に関する基本的な知識を問う出題となり、これまでに 15,976 名が受験し、11,864 名が合格しております。

また試験会場として全国 47 都道府県に 300 カ所以上のテストセンターがあり、試験期間内のご都合にあわせた試験日で受験することが可能です。ぜひ受験をご検討いただければ幸いです。

- 全国に開設されたテストセンターで、PC を使って受験していただきます。
- 16 日間の試験期間で、ご都合のよい日時・会場を選択できます。
- 受験料のお支払いはクレジットカード払い、コンビニ払い、Pay-easy（ネットバンキング）からお選びください。（手数料は無料です）
- 定員の制限なくお申込み可能ですが、ご希望の日時・会場が先約で埋まってしまう場合もありますので、お早めにお申込みください。

【1 次試験 お申込みから合否通知までの流れ】



【PRプランナー資格認定制度／検定制度 第 36 回 1 次試験 実施概要】

試験期間	2024 年 8 月 10 日（土）～8 月 25 日（日）
仮申込み期間	2024 年 6 月 1 日（土）正午～7 月 26 日（金）23:59 まで ※PRプランナー資格制度 Web サイトでのお申込みとなります。（本申込に必要な受験コードを取得）
本申込み期間	2024 年 6 月 1 日（土）正午～8 月 2 日（金）23:59 まで ※CBTS Web サイトにユーザー登録後、同サイトでの本申込みとなります。（受験日時・会場選択、受験料のお支払い）
合否発表	2024 年 9 月 4 日（水）正午
試験出題数／試験時間	50 問／80 分
合格基準	全出題数に対して正答率 70% 以上で合格
対応公式テキスト	広報・PR 概説（2024 年度版）

試験スケジュールにつきましては、変更する可能性もございますので、下記の PR プランナー資格制度 Web サイトでご確認くださいませよう、お願い申し上げます。

PRプランナー資格制度 Web サイト：<https://pr-shikaku.prsj.or.jp/>



PRプランナー資格認定制度／検定試験

第 35 回PRプランナー資格認定検定試験 2 次試験を 5 月 11 日(土)～19 日(日)に実施 全国で、324 名の受験者が挑戦！

資格委員会

5 月 11 日 (土) ～5 月 19 日 (日) までの 9 日間に向け、第 35 回 P R プランナー資格検定 2 次試験が全国の CBT 試験会場で行われました。今回の 2 次試験では、346 名が受験申込をされ、316 名の受験者が受験し、そのうち 242 名が合格されました。また、今回の 2 次試験の合格率は 76.6%となりました。今回の 2 次試験の受験者および合格者・合格率は以下の通りです。

ご協力いただきました関係者の皆様には、この場をお借りし厚くお礼申し上げます。

第 35 回 2 次試験 科目別 正答率 65%以上※

科目 A：CSR、IR、危機管理等、企業経営とコミュニケーションに関する知識

受験者 316 名、正答率 65%以上 228 名、達成率 72.2%

科目 B：マーケティング、ブランドマネジメントに関する知識

受験者 316 名、正答率 65%以上 206 名、達成率 65.2%

科目 C：広報・P R 実務に関する知識

受験者 316 名、正答率 65%以上 185 名、達成率 58.5%

科目 D：時事知識

受験者 316 名、正答率 65%以上 274 名、達成率 86.7%

※上記「科目別 正答率 65%以上」の人数は、2 次試験合格基準となる「出題数に対して正答率 65%以上」を満たした人数となり、達成率は、全体での割合として記載しております。

第 35 回 2 次試験 合格率 受験者 316 名、合格者 242 名、合格率 76.6%

第 35 回 2 次試験(2024 年 5 月 11 日～5 月 19 日) 合格率・受験者プロフィール

		PR業/ PR関連業	一般企業 (広報PR関連)	一般企業 (その他)	各種団体	教育機関	自治体	学生	その他	全体
男性	受験者	20 名	61 名	16 名	6 名	1 名	6 名	3 名	7 名	120 名
	合格者	14 名	52 名	15 名	5 名	1 名	4 名	1 名	7 名	99 名
女性	受験者	30 名	116 名	26 名	1 名	7 名	2 名	5 名	9 名	196 名
	合格者	18 名	90 名	21 名		5 名	2 名	2 名	5 名	143 名
全体	受験者	50 名	177 名	42 名	7 名	8 名	8 名	8 名	16 名	316 名
	(全体比)	(15.8%)	(56.0%)	(13.3%)	(2.2%)	(2.5%)	(2.5%)	(2.5%)	(5.1%)	(100.0%)
	合格者	32 名	142 名	36 名	5 名	6 名	6 名	3 名	12 名	242 名
	(全体比)	(13.2%)	(58.7%)	(14.9%)	(2.1%)	(2.5%)	(2.5%)	(1.2%)	(5.0%)	(100.0%)
合格率		64.0%	80.2%	85.7%	71.4%	75.0%	75.0%	37.5%	75.0%	76.6%

		20 代	30 代	40 代以上	全体
男性	受験者	22 名	39 名	59 名	120 名
	合格者	16 名	30 名	53 名	99 名
女性	受験者	61 名	76 名	59 名	196 名
	合格者	40 名	55 名	48 名	143 名
全体	受験者	83 名	115 名	118 名	316 名
	(全体比)	(26.3%)	(36.4%)	(37.3%)	(100.0%)
	合格者	56 名	85 名	101 名	242 名
	(全体比)	(23.1%)	(35.1%)	(41.7%)	(100.0%)
合格率		67.5%	73.9%	85.6%	76.6%

在日カナダ大使館訪問

3月26日(火)活動報告

国際交流委員会

開催日時 : 3月26日(火) 12:00~14:30
会場 : 在日カナダ大使館 東京 赤坂
当日参加者 : 28名 (PRSJ 会員参加者、事務局)

■ 当日のスケジュール :

- ①在日カナダ大使館 2025年大阪・関西万博カナダ政府代表 ローリー・ピーターズ氏によるブリーフィング(逐次通訳付)
- ②館内見学 (カナダ・ガーデン、オスカー・ピーターソン シアター、E・H・ノーマン図書館、高円宮記念ギャラリー)
- ③ブッフエスタイルの交流会

日本パブリックリレーションズ協会の国際・交流委員会では、世界の様々な地域の文化に直接ふれ、その地域の生活・経済・社会などの見聞を広める大使館訪問を開催しております。

3年ぶりの開催となる大使館訪問イベントとして、2024年3月26日に、東京、赤坂にある在日カナダ大使館へお伺いしました。

久々のリアルイベントは、都心に保たれた広い緑に接するカナダ大使館庁舎が備えたオープンな空気も素敵に作用し、とてもフレンドリーな雰囲気、終始笑顔の絶えない交流の場となりました。

2024年は、カナダと日本が外交関係を樹立して95周年という節目の年に当たりました。

この間に、カナダと日本は政治、経済、文化など幅広い分野にわたる相互の協力関係を築き、平和と安全保障に関する協力はもとより、経済・通商面における重要なパートナーとして、また文化や人と人とのつながりでも、幅広く活発な交流を行ってきました。

今回の大使館訪問は、観光や留学目的地としても大変人気があり、また美味しい食材の宝庫としても知られるカナダについて学び、交流する機会をカナダ大使館のご協力により開催する運びとなりました。

東京 青山一丁目駅から徒歩5分。青山通り沿い、赤坂御用地の広大な緑の道向かいにあるガラス張りの斜面がひと際目を引く建物が在日カナダ大使館庁舎です。

緑の多い周辺環境との調和が考えられたこの建物は、カナダ生まれの日系建築家レイモンド・モリヤマ氏によって設計され、1991年に開館しました。大使館としては珍しく、公共スペースをできるだけ広く設けるよう工夫されており、一般向けに利用公開されている多目的シアター、ギャラリー、図書館を備えています。まさに「開かれたカナダ」を体現する建物です。

セキュリティチェックのあと、長いエスカレーターで建物4階の高さまで一気に登ると、東京都心の景色が視界に広がります。当日はあいにくの雨でしたが、隣接する公園の緑の先には、東京タワーとミッドタウンが見えました。

エレベーターで地下2階に降りると、花崗岩に囲まれた大きなホールがあります。ここから、この建物の3つの重要な公共空間につながっていきます。



ブリーフィングでは大阪・関西万博のカナダ政府代表を務めるローリー・ピーターズ様（カナダグローバル連携省 2025 年大阪・関西万博カナダ政府代表）より、カナダの国土や文化の魅力や、万博カナダパビリオンでの取り組みについて丁寧に、時にユーモアを交えながらエネルギーに語っていただきました。

歴史的にカナダという国家は、「広かれた土地」として、移民や難民の多様な人々や文化を受け入れ、育んできました。今回の万博出展でもその「カナダのオープンネス」をアピールするとのこと。

冒頭、万博という視点からのカナダと日本の関わり合いをご説明いただきました。ピーターズ代表いわく、日本もカナダも万博開催の豊富な経験を持つエキスパートな国であるとのこと。カナダは、1967 年のモントリオール万博、1986 年のバンクーバー万博と万博の開催国を経験してきました。一方、日本では 1970 年にアジアで初めての万博が開催

されて以来、様々なテーマに特化した万博が幾度も開催されており、そこへカナダはパビリオン出展をしてきました。2005 年に愛知県で開催された「愛・地球博」では、ピーターズ代表はカナダパビリオンの広報責任者を務められました。

カナダパビリオンのテーマ「Regeneration 再生」。外観は、カナダの冬の厳しい寒さで凍っていた河川の氷が、春の訪れとともに徐々にとけ出す様子をモチーフにしており、自然や社会が再生し成長する様子を表現しているそうです。また、パビリオン内部では、カナダの豊かな自然や気候変動への取り組みを紹介するほか、カナダの食事なども提供されるとのこと。

資源のサステナブルや環境配慮の観点では、パビリオンの建設には再利用できる素材を使い、あらかじめ作った建物のパーツを日本に持ってきて組み立てられる予定です。これらの建築デザインはカナダの若手建築家グループが行ったそうです。

パビリオンの外観は冷たい氷を表しているが、内部はカナダの人々の温かさや前向きな姿勢を感じてもらえるものにしていきたいとのこと。

会期中には斜め向かいにあるウィメンズパビリオンとのコラボレーション企画なども予定されているとのこと。

スピーチの最後には、この日の参加者の皆さんとは次はカナダパビリオンで会いましょう！と、再会の約束のお声がけがありました。



続いて、在日カナダ大使館広報部上席報道官の野口さやか様より、広い大使館庁舎内に設けられた3つの公共施設「オスカー・ピーターソン シアター」「高円宮記念ギャラリー」「E・H・ノーマン図書館」を回遊しながら、施設名の由来や展示物についてご説明を頂きました。

ピーターズ代表のブリーフィングの場にもなった多目的劇場「オスカー・ピーターソン シアター」は、「鍵盤の皇帝」と呼ばれたジャズ界の伝説的な存在のカナダ人、オスカー・ピーターソンにちなんで名付けられました。スクリーンと232席を備えた劇場内装のデザインは、昔は屋外で演じられた日本の伝統芸能、薪能をイメージしたもので、広く深い藍色の空の下での演技を想像させる空間となっています。

高い天井と白い壁面、打放しの柱が印象的な「高円宮記念ギャラリー」は、カナダの大学に留学をされ日加関係に多大な貢献をされた高円宮殿下を記念して命名されました。カナダに関連するビジュアルアート作品が展示されています。私たちが伺った日にはカナダと日本にルーツがある写真家の展示会が行われていました。

「E・H・ノーマン図書館」は、日本とカナダの人々の友好促進に力を尽くしたカナダの歴史学者で外交官のエドガートン・ハーバート・ノーマンの名を冠した図書館です。

開架本棚が並ぶスペースには、英語・フランス語・日本語の約15,000冊の蔵書があり、カナダ留学の資料を集めたコーナーがあります。

また、「赤毛のアン」、「グレン・グールド」、「カーリング」といった日本でもなじみ深いカナダの文学や音楽やスポーツに関する資料展示もされています。

実際に、カーリングの石の重さを体験することもできます。

これらの3つの施設は一般向けのイベントの場として広く公開利用されており、「E・H・ノーマン図書館」では、図書、DVD、ビデオ、CDの無料館外貸出サービスを行っています。(郵送での貸出と返却にも対応可能)。



イベント後半の交流会の場は、赤坂御用地、高橋是清翁記念公園の豊かな緑を望むことができる「カナダ・ガーデン」に囲まれた、ガラス張りのオープンスペースです。

カナダと日本の芸術家による彫刻や造園が置かれた「カナダ・ガーデン」は、大西洋岸から太平洋岸まで広がるカナダの国土を象徴している面と、日本の象徴的な景色をモチーフにした面が地続きで展開していきます。庭の奥には、枯山水式日本庭園と、日本とカナダを意味する二つの巨石が並んでいました。

サーモンやメープルシロップといった日本の食卓にも欠かせないカナダ産の食材を豊富に用いた目にも舌にも美味しいブッフエスタイルの料理やドリンクを手に、大使館関係者の皆様や、参加会員同士での交流が活発に行われました。

来年に開催を控える大阪・関西万博への対応、グローバルな広報情報発信という、参加者共通の関心事項を中心に皆様のお話はとても弾んで、時間が過ぎていくのがあっという間でした。

最後は、ピーターズ代表による「A!A!A! CANADA!」の掛け声で揃って弾けた、笑顔の全員集合写真を以て今回のイベントは幕を閉じました。





万国博覧会とは様々な国が参加するイベントであり、カナダも、日本も、企業パビリオンも、誰もがみな、うちが一番人気でありたい、他よりも綺麗なカッコいいパビリオンでありたい、と思うのは当然のこと。広報やマーケティングの視点から、その目的実現には、様々な専門家で作られたチームのみんなで協力して、コンセプトづくりやデザイン、パビリオン設計や、イベント企画をしていくことがとても大切であると、ピーターズ氏はおっしゃいました。

カナダ大使館庁舎の建築設計と開かれた施設運営。万博パビリオンのコンセプトとコンテンツ。そのいずれにも通じる、自己のブランディングとそれを物質的に外部へ提示していく企画実行の一貫さからは、今回参加させていただき、私も一広報パーソンとして学ぶことがとても多かったです。

末筆ながら、企画運営のリードを取っていただいた脇山委員長、市瀬様、PRSJ 協会事務局の皆様には、貴重な機会のご提供に深く御礼を申し上げます。

以上

文責 中田裕子 ((株)ダイセル)

【会員限定】**第 31 回広報活動研究会(5月28日)開催報告****「三菱 UFJ フィナンシャル・グループ MUFG PARK」見学会****企業部会**

企業部会では、会員企業の広報活動(機能、組織、運営体制など)を実際のケーススタディを通して知り、広報・文化施設等によるコーポレートコミュニケーション、ブランディングを体験していただくことを目的に「広報活動研究会」を開催しています。

今回は、17社20名の会員が参加して、三菱 UFJ フィナンシャル・グループ様および、一般社団法人まちライブラリー様のご尽力により、東京都西東京市にある「MUFG PARK」とその中にある「まちライブラリー」を訪問しました。

協会掲載記事

● 6月1日(土) 『月刊広報会議』(宣伝会議) 7月号

『月刊広報会議』2024年7月号における当協会の連載コラムで「2024 PUBLIC RELATIONS YEARBOOK」の発行について記事掲載されました。

コラムでは、「2024 PUBLIC RELATIONS YEARBOOK」の概要、本号の特徴をはじめとして、座談会「パブリックリレーションズ、この1年」インタビュー記事など掲載されている内容の一部を紹介しています。

[記事協力：株式会社内外切抜通信社]



事務局の青田です。

役員の新体制がスタートしました！

新理事長の山口恭正氏（電通 PR コンサルティング）をはじめ、8人の新任理事・監事の皆様が就任されました。重任を含め計21人の体制で、心機一転のスタートとなります。会員みなさまにはご支援のほど、よろしくお願いいたします。

■退任された理事のみなさま、ありがとうございました。（総会&懇親会）

今回、任期满了等で退任されたのは、牧口理事長、鈴木孝徳副理事長、岩切副理事長、飾森理事、脇山理事、長澤理事、福田理事、鈴木勇夫理事、山田監事、そして渡邊啓常務理事です。大変おつかれさまでした。本当にありがとうございました。コロナの混乱期を支えてくださったみなさまであり、私自身にとってもおひとりおひとりに思い出があります。引き続き、横からサポートしていただける方もいらっしゃいますし、今後もこのご縁を大切にしていきたいと思えます。

また、総会後の懇親会は約100名のご参加を得て、大変に活気に溢れた会になりました。協会のイベントを行うたびに感じるのは、「やり易い」ということ。広報・PRが体に刻まれているのだと思いますが、みなさんの配慮と反射神経が素晴らしく、われわれ事務方の不手際や準備不足で小さな穴があくと、即座に埋めてくださる方がいらっしゃる！ありがたいの一言です。

今回もおかげさまでスムーズに進行し、会場の隅々まで明るい声が充満する盛会となりました。今年はリアルな交流の場を増やそうと考えていますので、会員みなさまは是非ご参加ください。

■フィンランドはなぜ幸福度が高く、SDGsも進んでいるのか（大使館訪問）

今号にはカナダ大使館訪問のレポートが掲載されていますが、その次の訪問がすでに実施されました。フィンランドです。次号で報告されますが、レクチャーの内容があまりにもパブリックリレーションズそのものでしたので、予告させていただきます。

フィンランドが幸福度ランキング第1位（日本は51位。トホホ）である理由、ジェンダー問題などのSDGs関連でも先行している理由は、国民にパブリックリレーションズが根付いているからだった！次号のレポートにご注目ください！

（事務局長 青田）

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・希望をお寄せください。

中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

広報委員会

Eメール mail@prsj.or.jp

※禁転載

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー5F

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 1-12-12 東京建物梅田ビル 12F